

# 令和6年度の事業報告について（水道事業）

第2回資料 令和8年1月30日

長岡京市上下水道事業審議会

# 水道事業 目次

\* ページ番号は中間見直し改定版

## 第3章 今後の水道事業環境について

- P 6 人口と水需要の見込み
- P 8 管路の更新
- P10 職員の現状

## 第4章 水道事業の具体的な取り組みについて

### 第2節 安全

- P12 二元水源の確保
- P13 地下水質の常時監視
- P16 鉛製給水管の取り替え促進

### 第2節 強靱

- P17 施設の耐震化
- P18 基幹管路の耐震化
- P20 主要幹線管路の計画的更新
- P21 漏水調査の継続
- P23 災害時連携の充実

### 第3節 持続

- P24 適正な料金算定と料金体系の見直し
- P28 エネルギーの有効利用
- P31 法令遵守の推進
- P33 広報活動の充実による情報公開の推進

## 第5章 経営戦略

- P39 財源試算の重点基準目標

# 人口と水需要の見込み

令和6年度の人口と有収水量(予測値と決算値の比較)			
区 分	令和6年度予測値	令和6年度決算値	比 較
人 口	82,574人	82,123人	△451人
家庭用水量	6,625千m <sup>3</sup>	6,639千m <sup>3</sup>	14千m <sup>3</sup>
工場用水量	844千m <sup>3</sup>	890千m <sup>3</sup>	46千m <sup>3</sup>
営業用ほか水量	1,134千m <sup>3</sup>	1,140千m <sup>3</sup>	6千m <sup>3</sup>
水量合計	8,603千m <sup>3</sup>	8,669千m <sup>3</sup>	66千m <sup>3</sup> (0.8%)

※ 令和5年度以降の有収水量の予測値は、中間見直し後の水量

※ 決算値水量は、ほぼ予測値どおりに推移

# 管路の更新

令和6年度配管工事実績		
No.	工事名	工事概要
①	開田2丁目地内配水管布設替工事	φ100mm DIP(GX) L=48.5m 他
②	野添1丁目地内水管橋架替工事	φ100mm DIP(K) L=7.4m 他
③	神足3丁目地内配水管布設替工事その1	φ150 DIP(GX) L=106.7m、φ100 DIP(GX) L=12.8m 他
④	神足3丁目地内配水管布設替工事その2	φ150 DIP(GX) L=107.6m、φ100 DPI(GX) L=4.0m 他
⑤	久貝1・2丁目地内配水管布設替工事その3	φ150 DIP(GX) L=81.3m、φ100 DIP(GX) L=75.9m φ75 DIP(GX) L=127.1m 他
⑥	神足森本地内配水管布設替工事その1	φ300 DIP(GX) L=176.2m、φ100 DIP(GX) L=38.6m 他
⑦	神足森本地内配水管布設替工事その2	φ300 DIP(GX) L=90m 他
⑧	東ポンプ場解体関連送水管連絡工事	φ300 DIP(GX) L=40m 他
⑨	粟生田内地内配水管布設替工事	φ150 (DIP GX) L=3.0m、φ100(DIP GX) L=0.4m φ75(DIP GX) L=132.8m 他

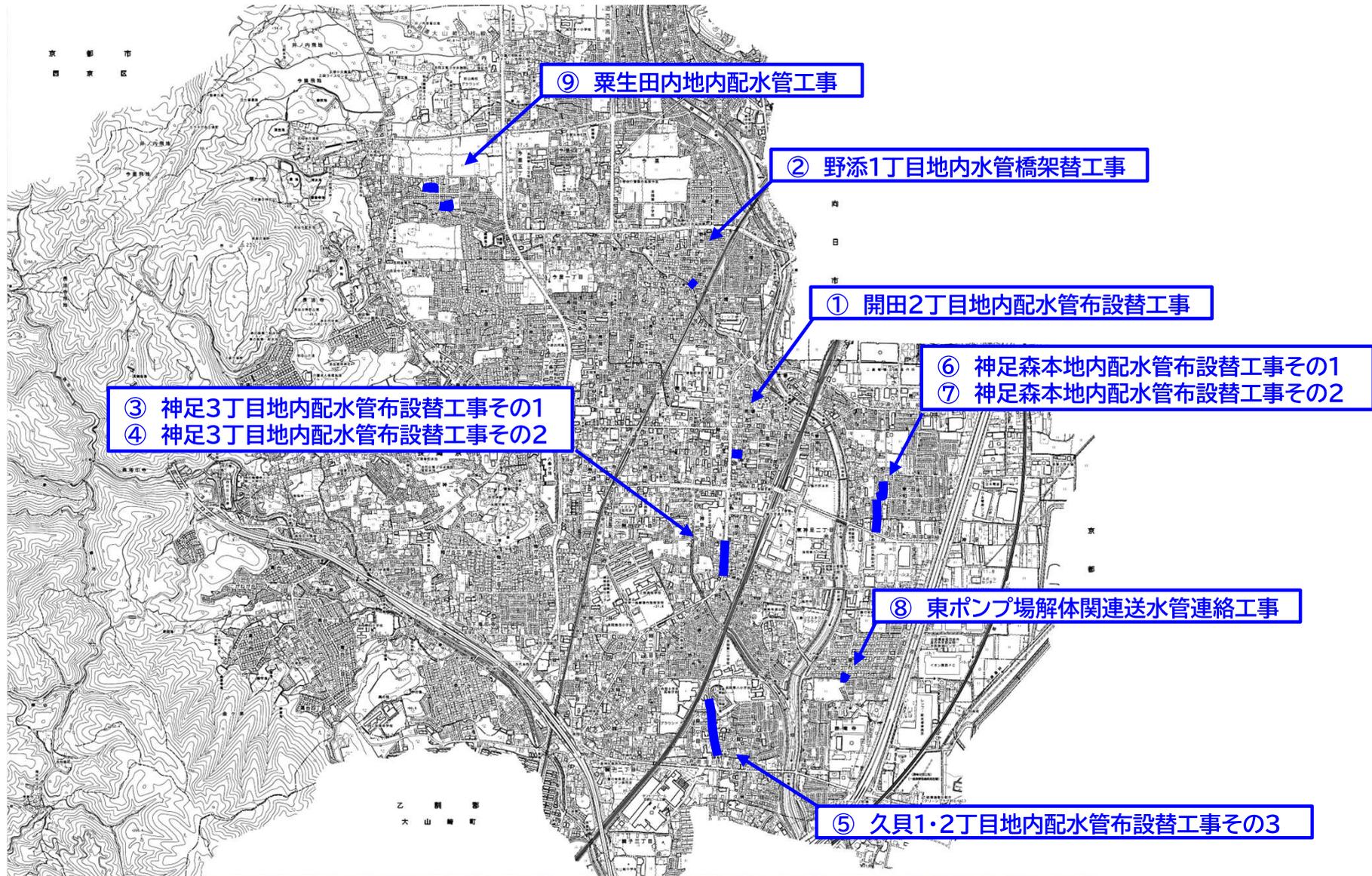
DIP(GX) ダクタイトル鋳鉄管(GX形)

DIP(K) ダクタイトル鋳鉄管(K形)

全管路延長 (令和6年度末)	令和6年度	
	更新延長	更新率
290.234km	1.7399km	0.60%

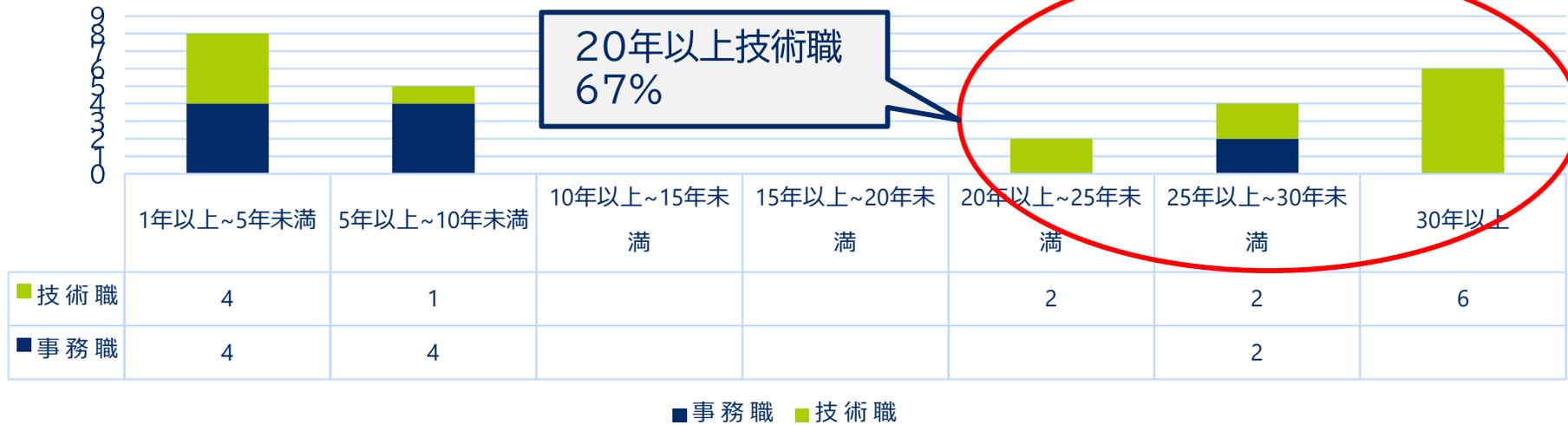
# 管路の更新

## 令和6年度事業実施箇所図

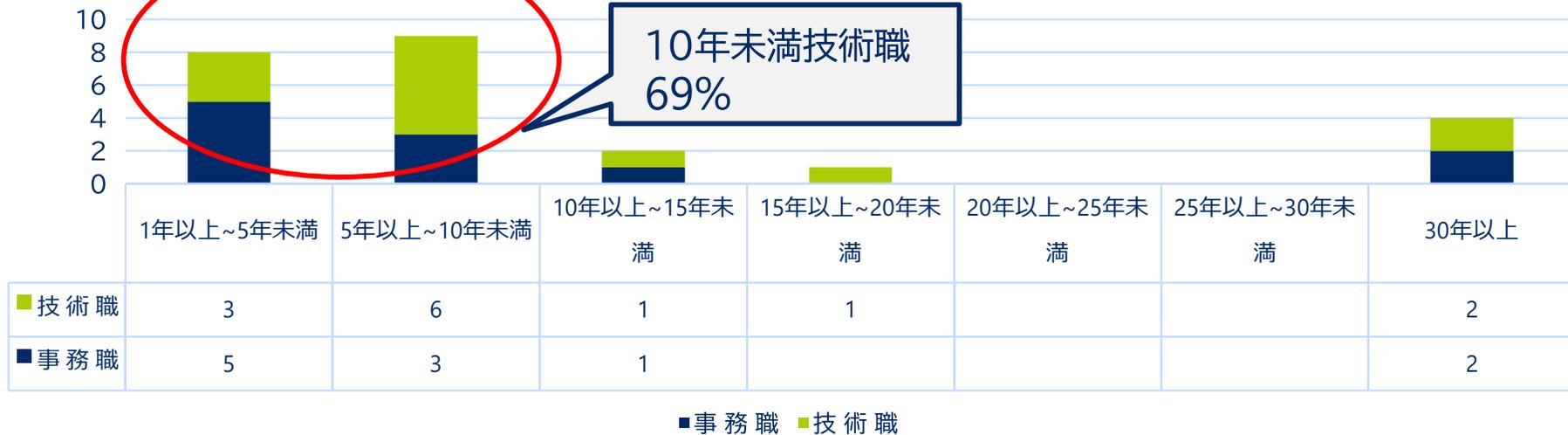


# 職員の現状

平成27年度 水道事業職員勤務年数別構成



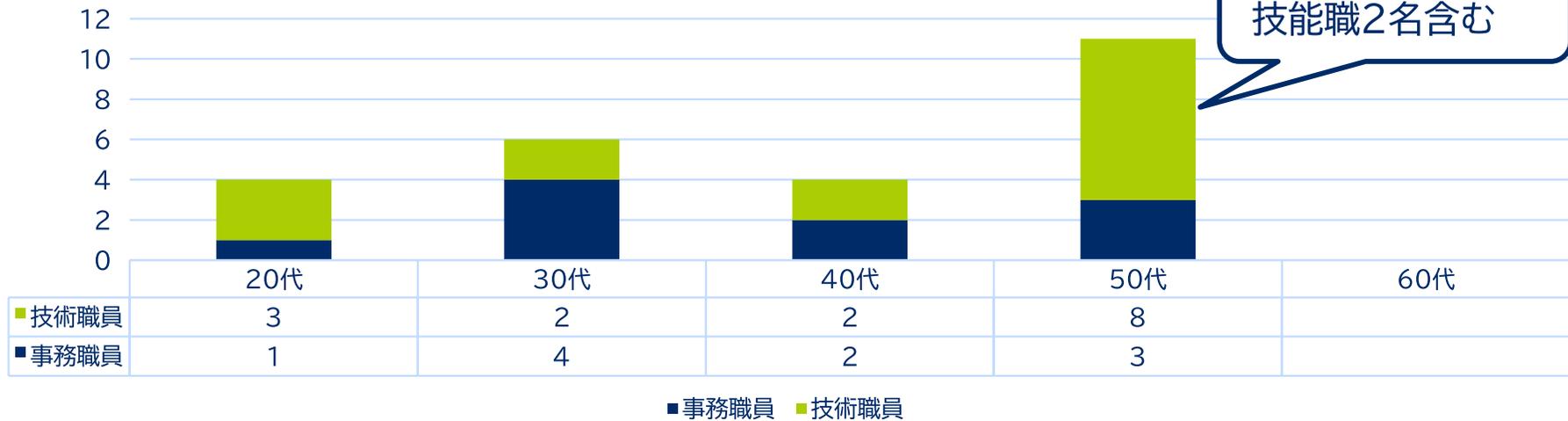
令和6年度 水道事業職員勤務年数別構成



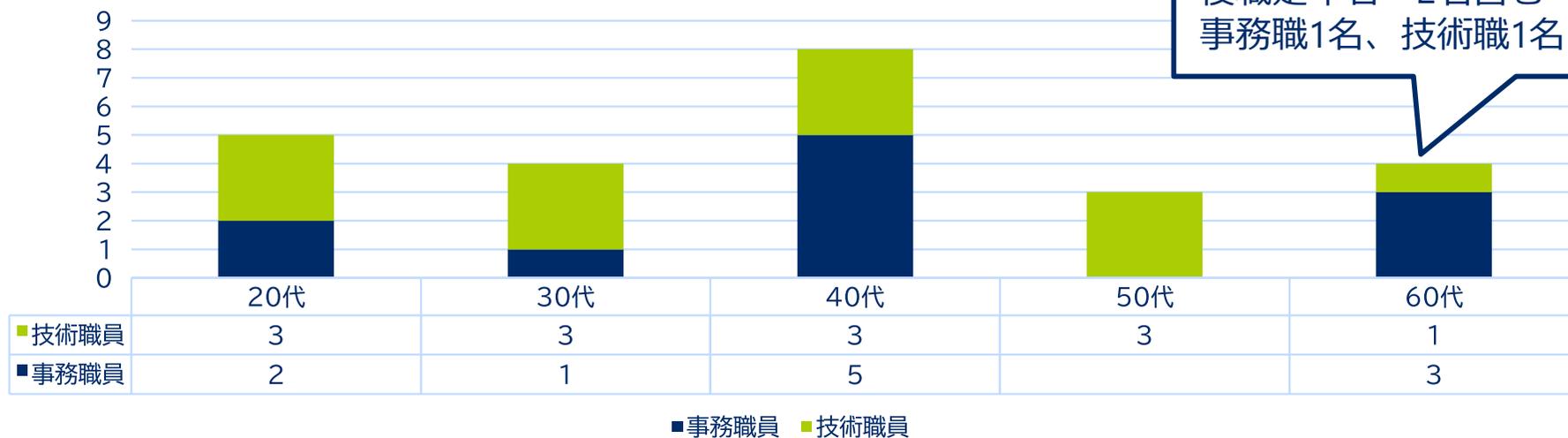
※ 会計年度任用職員、再任用職員を除く下水道事業会計職員。

# 職員の現状

平成27年度 水道事業職員年齢別構成



令和6年度 水道事業職員年齢別構成



※ 会計年度任用職員、再任用職員を除く水道事業会計職員。

現在、地下水と府営水のブレンド率は50%で、引き続き持続していきます。水需要は今後も減少傾向にあり、低廉で安全な水道水の供給を継続していくため、効率的な水運用を図るとともに、京都府営水道全体の建設負担水量の見直しやアセットマネジメントによる施設のダウンサイジング等も含め議論を進めていきます。

## 京都府営水道と受水市町の連携について

- ◎ 建設負担水量の見直しについては、R6年12月の京都府営水道事業経営審議会答申において、以下の2案が示され、それぞれの案を50%ずつ取り入れたハイブリット案が妥当であるとの見解が示されました。
  - ①府営水道建設時の要望経過を考慮する案
  - ②各市町水需要と自己水施設能力に基づき新たな水量を設定する案
- ◎ このハイブリット案をベースに、建設負担水量の見直しを進めるとともに、将来的な施設整備方針について、京都府と受水市町間での具体的な協議を進めていきます。

## 給水量内訳

項 目		5年度 決算 ①	6年度 決算 ②	比較増△減 ② - ①	
自己水(地下水)	③ (m <sup>3</sup> )	4,064,152	3,990,474	△73,678	△1.8 %
府営水 (漂流水)	大口5社 ④ (m <sup>3</sup> )	754,401	612,908	△141,493	△18.8 %
	一 般 ⑤ (m <sup>3</sup> )	4,259,446	4,551,933	292,487	6.9 %
	計 ⑥ (m <sup>3</sup> )	5,013,847	5,164,841	150,994	3.0 %
合 計	⑦	9,077,999	9,155,315	77,316	0.9 %
市民向け府営水ブレンド割合		51.2	53.3	2.1	-

※ 市民向けブレンド割合算式  $[\text{⑤} \div (\text{③} + \text{⑤})]$

- ・上下水道ビジョンに、府営水と自己水のブレンド率は50%としており、令和6年度は53.3%でした。
- ・令和7年度からは、各取水井戸において毎月水質検査を実施し、「長岡京市取水井戸等運用基準」に基づき運用しています。

採水場所	東第2浄水場(混合原水)			
	令和6年度			
年度	最高値	最低値	平均値	検査回数
項目				
大腸菌	全検査不検出			12
シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.004未満	0.004未満	0.004未満	12
トリクロロエチレン	0.001未満	0.001未満	0.001未満	12
ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)	0.000035			1

1 水質基準値：大腸菌（検出されないこと）、シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン（0.04mg/L以下）、トリクロロエチレン（0.01mg/L以下）

2 目標値：ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)（0.00005mg/L以下（暫定））

## ○長岡京市取水井戸等運用基準(水質管理目標設定項目)・・・ 令和7年度

PFOS及びPFOAの水質検査結果に基づく取水井戸等の運用基準を定めた「長岡京市取水井戸等運用基準」を令和7年6月から運用を開始しました。

### (1) 対象とする水道施設

- ・東第2浄水場、取水井戸、地下水100%水道水供給施設

### (2) 運用基準内容

- ・PFOS及びPFOAが、国が定める暫定目標値(50ng/L)以上となった場合、該当施設は休止とする。
- ・暫定目標値(50ng/L)以下ではあるが、水質検査結果が45ng/L以上であり、かつ、2か月以上濃度の下降が見られない場合、当該施設は休止とする(予防措置)。
- ・翌月の水質検査結果において、事象が解消された場合は、その施設の運転を再開する。

# 鉛製給水管の取り替え促進

指 標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
鉛製給水管率(%) (A401)	7.5	6.0	5.4	4.6	4.2

令和6年度 実績値	令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
4.2	6.0	達成	0.0

- ・令和6年度の鉛製給水管解消件数は116件、鉛製給水管率は0.4%減少し、4.2%となりました。
- ・中間目標は達成していますが、近年は鉛製給水管の解消件数が鈍化傾向にあります。計画目標値を達成するため、取替施工業者への発注件数を増やす等して取替えを加速させます。

# 施設の耐震化

指 標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
配水池の耐震化率(%) (B604) 配水池	98.6	98.6	98.6	98.6	98.6

令和6年度 実績値	令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
98.6	98.6	達成	100.0

- ・ 配水池については概ね耐震補強工事を完了しています。耐震補強工事が完了していない山間部等の配水池については、管網を形成しておらず施工期間中の代替水源の確保に課題があることから、令和11年度の最終目標値の達成は厳しい状況です。
- ・ 施設の補強や更新以外にも、従来の配水方式の見直しも視野に入れるなど様々な検討が必要になります。

# 基幹管路の耐震化

指 標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
基幹管路の耐震適合率(%) (B606-2)	49.4	49.9	50.5	50.6	51.1

令和6年度 実績値	令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
51.1	52.0	ほぼ達成	55.0

- ・今後は、国からの要請により策定した「長岡京市上下水道耐震化計画(R7～R11年度)」に基づき、重要施設へ接続する管路の耐震化にも取り組む必要があることから、事業量の増大に伴う人員確保が難しくなっていることに加え、資材高騰などの影響等もあり、令和11年度の最終目標値の達成は厳しい状況にあります。
- ・基幹管路の耐震適合率については、業務指標(PI)の「基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長」を基準として算出しており、本市では送水管、導水管、配水管(Φ300mm以上)を基幹管路として位置づけています。

# 主要幹線管路の計画的更新

指 標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
管路の更新率(%) (B504)	0.51	1.15	0.45	0.43	0.60

令和6年度 実績値	令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
0.60	0.70	ほぼ達成	1.00

## <管路を計画的に更新するための課題>

### ・技術継承

水道に関する技術を幅広く習得するには一定の時間を要する上、ベテラン職員の退職により指導者が不足する中、短期サイクルでの人事異動では必要な技術継承が十分ではなく、工事発注に必要な技術力の低下が懸念されます。

### ・事業量に見合う技術職員の確保

上下水道ビジョンに基づく計画的な更新に加え、全国的な漏水事故を受け、国が要請する管路更新も併せて進めていく必要がある等、事業量が増大する中、継続的な工事発注に必要な人員確保について厳しい状況が続いています。

### ・工事への理解促進

様々な事情により、やむを得ず住民負担が生じる工事(夜間工事、交通規制、断水等)について、理解が得られない場合も多く、計画通りの工事進捗が困難なケースが多くなっています。

# 漏水調査の継続

指 標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
有収率(%) (B112)	96.0	96.5	96.3	96.3	94.7

令和6年度 実績値	令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
94.7	93.5	達成	94.0

令和6年度の有収率は中間目標値を達成しています。近年の有収率が高水準を維持していることから、令和6年度は漏水調査を実施しませんでした。同年度の有収率低下を踏まえ、漏水調査の実施を予定しています。

令和6年度有収率 94.7% (=①÷②×100)

年間有収水量: 8,669,298m<sup>3</sup> … ①

年間配水量 : 9,155,315m<sup>3</sup> … ②

災害時を想定した訓練に参加し、関係機関との連携強化による災害対応能力の向上に努めました。

## ■ 日本水道協会 京都府支部の防災訓練に参加

令和6年11月21日 庁舎内で情報伝達訓練

令和6年11月22日 応急給水訓練

訓練内容:府内市町で災害が発生し、近隣市町が応急給水活動を実施

参加団体:1府15市8町

## ■ 京都府営水道事故等対応訓練

令和6年10月29日 大地震発生時を想定した市町への緊急送水等の訓練

訓練内容:初期対応から給水再開までの復旧作業・受水市町との情報伝達  
訓練

参加団体:京都府、府営水道受水10市町

# 適正な料金算定と料金体系の見直し

指 標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
経常収支比率(%) (C102)	106.48	101.52	99.15	102.20	100.96
給水原価(円/m <sup>3</sup> ) (C115)	187.3	192.8	196.3	190.9	193.8

	令和6年度 実績値	令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
経常収支比率	100.96	100%以上	達成	100%以上
給水原価	193.8	抑制	達成	抑制

- ・令和2年度に水道料金を平均5.4%引き下げました。
- ・経常収支比率は100%以上ですが、資金残高は微減傾向となっています。
- ・給水原価の抑制は図れていますが、類似団体より高い状況となっています。

## 太陽光発電(平成19年3月設置)

東第2浄水場	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
電気使用量実績(千kWh)	3,471	1,954	2,877	3,473	3,483
太陽光発電実績(千kWh)	22	16	20	22	22

※ 令和3・4年度は耐震化工事があったため、電気使用量の実績値が少なくなっている。

## 小水力発電(平成29年3月、令和3年1月に設置)

府営水受水施設	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
北ポンプ場(千kWh)	177	150	138	165	178
東配水池内(千kWh)	9	86	79	78	83

※ 小水力発電設備(府営水道施設の高低差を利用して発電)・・・民間からの出資

倫理研修等により職員の倫理感の向上に努めました。

- ① 上下水道部集合研修 実施日:12月4日、18日(いずれかに参加)  
「職員倫理条例について」講師:市法令遵守マネージャー
- ② 各課個別研修 実施日:2月28日～3月24日までの期間で個別実施  
全国の倫理違反他市事例(5例)について各課で意見交換方式で研修



グループ討論(令和5年度)



法令遵守マネージャー講義(令和6年度)

上下水道事業の理解促進とサービス向上に向け、様々な情報ツールを活用し周知に努めました。

- ⇒ 広報紙(水だより) 年2回発行・全戸配布しました。
- ⇒ HP(ホームページ) 上下水道情報の随時確認や即時性のある事項について周知しました。(水質検査結果の公表等)
- ⇒ 長岡京市公式LINE:水道の開閉栓のオンライン手続き。
- ⇒ 水道年報、長岡京市の下水道等を発行。内容はHPで確認可能。
- ⇒ 工事实施(対象区域の方にちらしなどで工事内容等を周知しました。)
- ⇒ 出前講座5回実施。(小学校4回、その他1回)
- ⇒ デジタルサイネージを活用し、雨水タンクの募集を行いました。
- ⇒ 「FMおとくに」に出演し、「災害に強い上下水道」をテーマに周知しました。
- ⇒ 地下水100%水道水供給施設4か所目を設置(地下水の保全等の啓発)しました。

# 財源試算の重点基準目標

重点基準目標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
経常収支比率 *再掲 (100%以上)	106.48	101.52	99.15	102.20	100.96
自己資金残高 (9億円以上)	22.73	23.05	21.79	24.97	21.18
企業債残高対給水収益比率 (300%未満)	270.26	291.62	297.54	294.82	290.62

	令和6年度 実績値	令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
経常収支比率	100.96	100%以上	達成	100%以上
自己資金残高	21.18	9億円以上	達成	9億円以上
企業債残高対 給水収益比率	290.62	300%未満	達成	300%未満

投資・財政計画（収支計画）との比較

一収益的収支一

上段：計画 下段：進捗（R2～R6：決算）

（単位：億円、税抜き）

項 目		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	合計 (2～6年度)	進捗と計画の 比較	
収 入	1. 営業収益	18.68 18.61	18.02 18.11	17.97 17.74	17.92 18.13	17.87 17.95	90.46 90.54	0.08	
	(1) 料金収入	16.84 16.81	16.32 16.32	16.27 16.22	16.22 16.50	16.17 16.38	81.82 82.23	0.41	
	(2) その他	1.84 1.80	1.70 1.79	1.70 1.52	1.70 1.63	1.70 1.57	8.64 8.31	△ 0.33	
	2. 営業外収益	1.76 1.69	1.76 1.75	1.66 1.68	1.67 1.70	1.63 1.67	8.48 8.49	0.01	
	(1) 長期前受金戻入	1.64 1.63	1.70 1.70	1.60 1.63	1.62 1.64	1.58 1.60	8.14 8.20	0.06	
	(2) その他	0.12 0.06	0.06 0.05	0.06 0.05	0.05 0.06	0.05 0.07	0.34 0.29	△ 0.05	
	収 入 計	20.44 20.30	19.78 19.86	19.63 19.42	19.59 19.83	19.50 19.62	98.94 99.03	0.09	
	支 出	1. 営業費用	19.41 18.38	21.06 18.92	20.19 18.97	18.65 18.78	18.78 18.83	98.09 93.88	△ 4.21
		(1) 職員給与費	1.88 1.73	1.75 1.61	1.75 1.74	1.75 1.81	1.75 1.86	8.88 8.75	△ 0.13
		(2) 動力費	0.99 0.86	0.63 0.69	0.63 1.01	0.93 0.89	0.93 1.03	4.11 4.48	0.37
(3) 修繕費		1.09 0.83	2.52 1.05	2.47 1.08	1.24 1.07	1.36 0.85	8.68 4.88	△ 3.80	
(4) 受水費		6.81 6.80	7.42 7.33	7.22 6.77	6.61 6.64	6.59 6.66	34.65 34.20	△ 0.45	
(5) 委託費		2.03 1.87	1.66 1.83	1.66 1.98	1.66 1.93	1.66 1.91	8.67 9.52	0.85	
(6) 減価償却費		4.61 4.57	4.70 4.51	4.68 4.58	4.67 4.65	4.71 4.91	23.37 23.22	△ 0.15	
(7) その他		2.00 1.72	2.38 1.90	1.78 1.81	1.79 1.79	1.78 1.61	9.73 8.83	△ 0.90	
2. 営業外費用		0.71 0.68	0.72 0.64	0.68 0.62	0.63 0.62	0.58 0.60	3.32 3.16	△ 0.16	
(1) 支払利息ほか		0.71 0.68	0.72 0.64	0.68 0.62	0.63 0.62	0.58 0.60	3.32 3.16	△ 0.16	
支 出 計		20.12 19.06	21.78 19.56	20.87 19.59	19.28 19.40	19.36 19.43	101.41 97.04	△ 4.37	
経常損益		0.32 1.24	△ 2.00 0.30	△ 1.24 △ 0.17	0.31 0.43	0.14 0.19	△ 2.47 1.99	4.46	
特別損益		△ 0.02 △ 0.02	0.60 0.00	△ 0.01 1.54	△ 0.01 △ 0.36	△ 0.01 △ 0.04	0.55 1.12	0.57	
当年度純利益（又は純損失）		0.30 1.22	△ 1.40 0.30	△ 1.25 1.37	0.30 0.07	0.13 0.15	△ 1.92 3.11	5.03	
繰越利益剰余金又は累積欠損金	51.49 53.22	50.09 53.52	48.84 54.89	49.14 54.96	49.27 55.11	- -	5.84		

一資本的収支一

上段：計画 下段：進捗（R2～R6：決算）

（単位：億円、税込み）

項 目		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	合計 (2～6年度)	進捗と計画の 比較
収 入	1. 企業債	5.50 3.92	4.50 5.00	3.20 3.60	2.60 3.43	3.80 1.99	19.60 17.94	△ 1.66
	2. その他	1.32 1.11	0.62 0.65	0.56 0.40	0.56 0.49	0.56 0.32	3.62 2.97	△ 0.65
	収 入 計	6.82 5.03	5.12 5.65	3.76 4.00	3.16 3.92	4.36 2.31	23.22 20.91	△ 2.31
支 出	1. 建設改良費	7.56 5.93	7.27 7.20	4.90 5.12	3.93 4.98	5.30 3.19	28.96 26.42	△ 2.54
	2. 企業債償還金	2.66 2.66	2.83 2.83	2.94 2.94	3.14 3.05	3.18 3.01	14.75 14.49	△ 0.26
	支 出 計	10.22 8.59	10.10 10.03	7.84 8.06	7.07 8.03	8.48 6.20	43.71 40.91	△ 2.80
資本的収入額が資本的支出額に不足する額		△ 3.40 3.74	△ 4.98 4.68	△ 4.08 4.51	△ 3.91 △ 4.38	△ 4.12 △ 4.39	- -	- -
企 業 債 残 高		47.36 45.42	49.03 47.59	49.29 48.25	48.75 48.63	49.37 47.61	- -	△ 1.76

一財政試算の重点基準目標一

上段：計画 下段：進捗（R2～R6：決算）

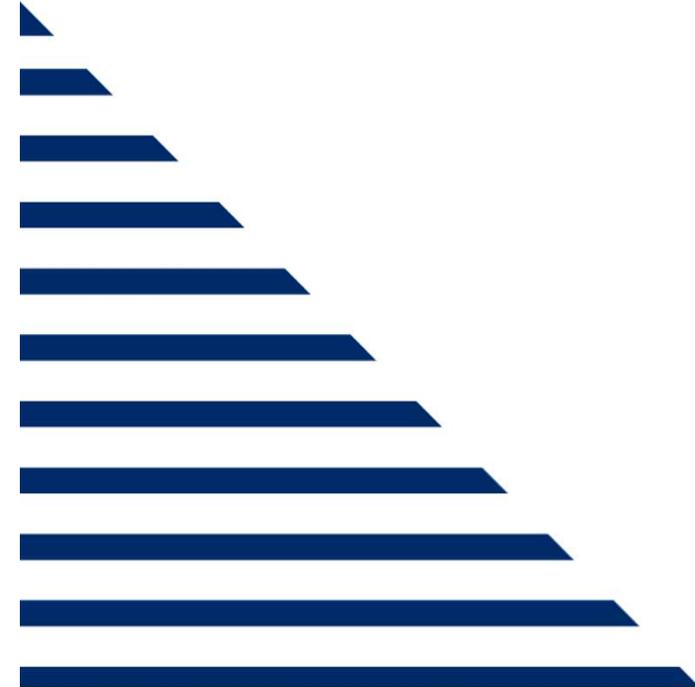
資 金 残 高（億円）	16.85	13.46	11.22	10.67	9.80
（9億円以上）	22.73	23.05	21.79	24.97	21.18
経 常 収 支 比 率（％）	101.59	90.82	94.06	101.62	100.64
（100％以上）	106.48	101.52	99.15	102.20	100.96
企業債残高対給水収益比率（％）	281.24	300.27	302.77	300.43	305.32
（300％未満）	270.26	291.62	297.54	294.82	290.62

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額には、翌年度の繰越財源を含んでいます。



# 令和6年度の事業報告について(下水道事業)

---



第2回資料 令和8年1月30日

長岡京市上下水道事業審議会

# 下水道事業 目次

## 第3章 今後の下水道事業環境について

P46 人口と汚水有収水量の見込み

\* ページ番号は中間見直し改定版

## 第4章 下水道事業の具体的な取り組みについて

### 第1節 安全安心(災害の軽減を図る下水道)

P49 浸水対策

P49 いろは呑龍トンネル接続に伴う整備

P51 犬川雨水幹線整備

P53 地震対策・雨水事業

P53 地震対策・汚水事業

P55 災害用マンホールトイレ

P55 雨水貯留タンク

### 第2節 環境保全(公共用水域の水質保全を図る下水道)

P57 水洗化率の向上

P58 管路整備・汚水事業

P59 マンホールポンプ整備

### 第3節 健全経営(継続して健全な経営を図る下水道)

P62 組織体制の強化

P64 広域化の取り組み

## 第5章 経営戦略

P70 財源試算の重点基準目標

# 人口と汚水有収水量の見込み

令和6年度の人口と有収水量(予測値と決算値の比較)			
区 分	令和6年度予測値	令和6年度決算値	比 較
人 口	82,574人	82,123人	△451人
家庭用水量	6,757千m <sup>3</sup>	6,599千m <sup>3</sup>	△158千m <sup>3</sup>
工場用水量	1,522千m <sup>3</sup>	1,603千m <sup>3</sup>	81千m <sup>3</sup>
営業用ほか水量	1,113千m <sup>3</sup>	1,171千m <sup>3</sup>	58千m <sup>3</sup>
水量合計	9,392千m <sup>3</sup>	9,373千m <sup>3</sup>	△19千m <sup>3</sup> (△0.2%)

※ 令和5年度以降の有収水量の予測値は、中間見直し後の水量

# 浸水対策

指 標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
10年に一度の雨量に対応する整備率(%)	67.7	69.8	71.9	71.9	74.0

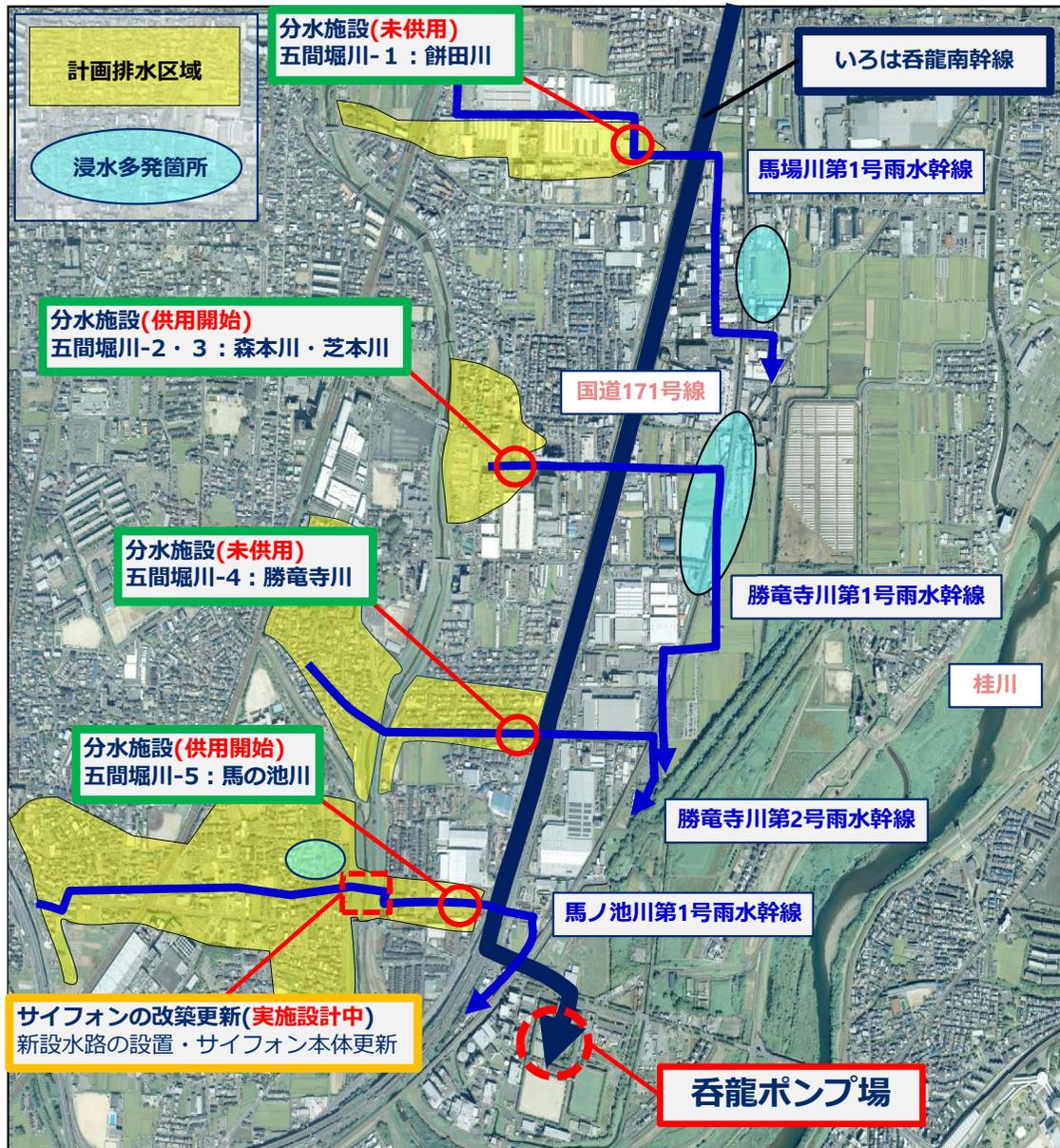
令和6年度 実績値	令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
74.0	75.4	ほぼ達成	80.0

令和6年度の中間目標値がほぼ達成に留まった原因は以下のとおりです。

- ・令和5年度に完全供用開始を目標としていたいろは呑龍トンネル接続事業が、用地協議の遅れ等により供用が遅れています。現在、令和9年度の供用開始を目指し事業を実施しています。
- ・令和6年度に供用開始としていた神足雨水ポンプ場および神足雨水貯留施設の工事が関連事業である府道拡幅事業との調整により遅れています。現在、令和8年度の供用開始を目指し事業を実施しています。

# いろは呑龍トンネル接続に伴う整備

## (馬ノ池・勝竜寺川・馬場川・和井川排水区・馬の池排水区)



令和5年度に、いろは呑龍トンネル接続に伴う整備の一環として、五間堀川-2・3(森本川・芝本川)の分水施設の供用を開始しました。また、五間堀川-1(餅田川)および五間堀川-4(勝竜寺川)については、接続施設の位置が確定したことを受け、京都府と情報共有を行いながら、早期の工事完了を目指して事業を推進してまいります。

さらに、接続工事が完了した馬ノ池川については、上流側の河川水路整備に取り組んでおります。当該水路は供用開始から50年以上が経過しており、近年の降雨量に対する能力不足により浸水箇所が発生しているのが現状です。この課題を解消するため、概ね10年に一度程度発生する降雨(61.1mm/h)に対応できるように、現行施設の改築更新を行うとともに、新たなバイパスサイフォンの築造を予定しております。令和6年度には、令和11年度の全体完成を目指し、実施設計に着手いたしました。

# 犬川雨水幹線整備(犬川第1・2・3排水区)

ビジョン改定版P51



## 神足雨水ポンプ場貯留施設築造工事

令和6年度にⅠ期工事が完了し、817m<sup>3</sup>分の雨水貯留が可能となりました。令和7年度からは、令和9年度の全体完成に向けてⅡ期工事の詳細設計に着手しました。

雨水貯留量  
全体1,169m<sup>3</sup>

## 神足雨水ポンプ場築造工事

令和6年4月から工事を着手し、令和9年2月の供用開始に向けて工事を実施しています。

ポンプ排水能力  
1.0m<sup>3</sup>/秒から2.2m<sup>3</sup>/秒



【外観】



【内観】

旧神足ポンプ場

今里雨水ポンプ場



今里雨水貯留幹線



- ・令和6年度は、月点検(11回)、年点検(1回)の定期点検を行うとともに大雨によるポンプ稼働時の緊急時対応を実施しました。
- ・引き続き、ストックマネジメント計画に基づく点検を行い、耐用年数が10年を迎える蓄電池、23年を迎える機械施設・電気施設の更新計画の策定を進めていきます。

更新予定の蓄電池



旧神足ポンプ場



## 神足雨水ポンプ場・貯留施設 (犬川排水区)

ポンプ場は建て替えにより耐震性能を有した施設として更新

貯留施設は耐震性能を有した施設として新設

令和8年度にポンプ場完成

令和9年度にⅡ期貯留施設完了により全体供用開始予定

## 今里雨水ポンプ場・貯留施設 (風呂川排水区)

ポンプ場及び貯留施設は、平成18年供用開始時から耐震性能を有しています。

神足雨水貯留施設





# 災害用マンホールトイレ整備



掘削中



掘削完了



内蓋嵩上げ中



鉄蓋調整中



鉄蓋調整完了



埋戻し完了



人口芝完了



トイレテント

- ・4施設(長四小、長八小、長九小、長四中)は、災害用マンホールトイレの鉄蓋が、地中に埋設されており、防災訓練時に場所の特定や掘り出す作業に時間を要することから、これらを改善したい地域の要望がありました。令和5年度より防災・安全推進室と協力して再整備を進めています。
- ・令和6年度は長四中を、令和7年度は長九小の再整備をすることで、全ての設置避難所において、発災時に迅速な災害用マンホールトイレの設置・運用が可能となります。
- ・令和7年度以降は、共生型福祉施設と防災・スポーツ施設へ災害用マンホールトイレの整備(新設)を予定しています。

# 雨水貯留タンク

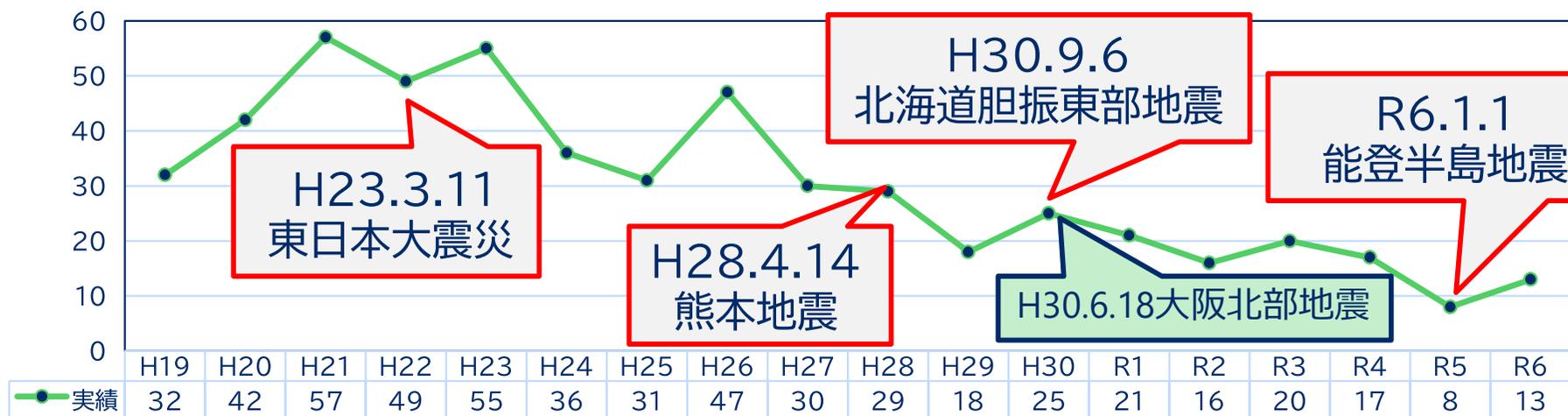
指 標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
雨水貯留タンク設置総数 (件) 下段 ( ) 単年度	488 (16)	508 (20)	525 (17)	533 (8)	546 (13)

- ・令和6年度よりデジタルサイネージ  
やはっぴいバスでの周知を強化
- ・令和7年度より防災出前講座で補助  
金の活用について周知

令和6年度 実績値	令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
546	810	未達成	1,010

雨水タンク設置件数推移

最大震度7以上の地震

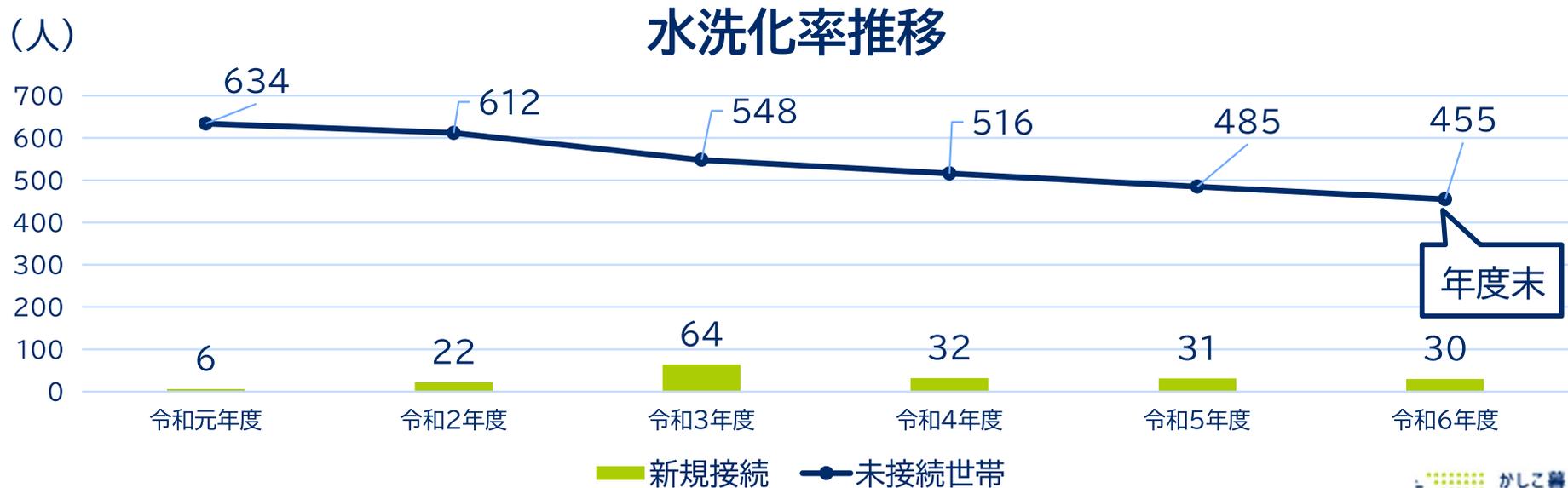


# 水洗化率の向上

指 標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
下水道水洗化率 (%)	99.2	99.3	99.4	99.4	99.4

- ・令和6年度個別訪問件数 = 92件
- ・6年間で185件の公共下水道接続
- ・約28.9%の新規接続(185÷640)

令和6年度 実績値	令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
99.4	99.5	ほぼ達成	100



# 管路整備・汚水事業



洗浄作業中



高圧洗浄車



TVカメラ車



クレーン装置車(更生工法)



管渠施工中



管渠完成



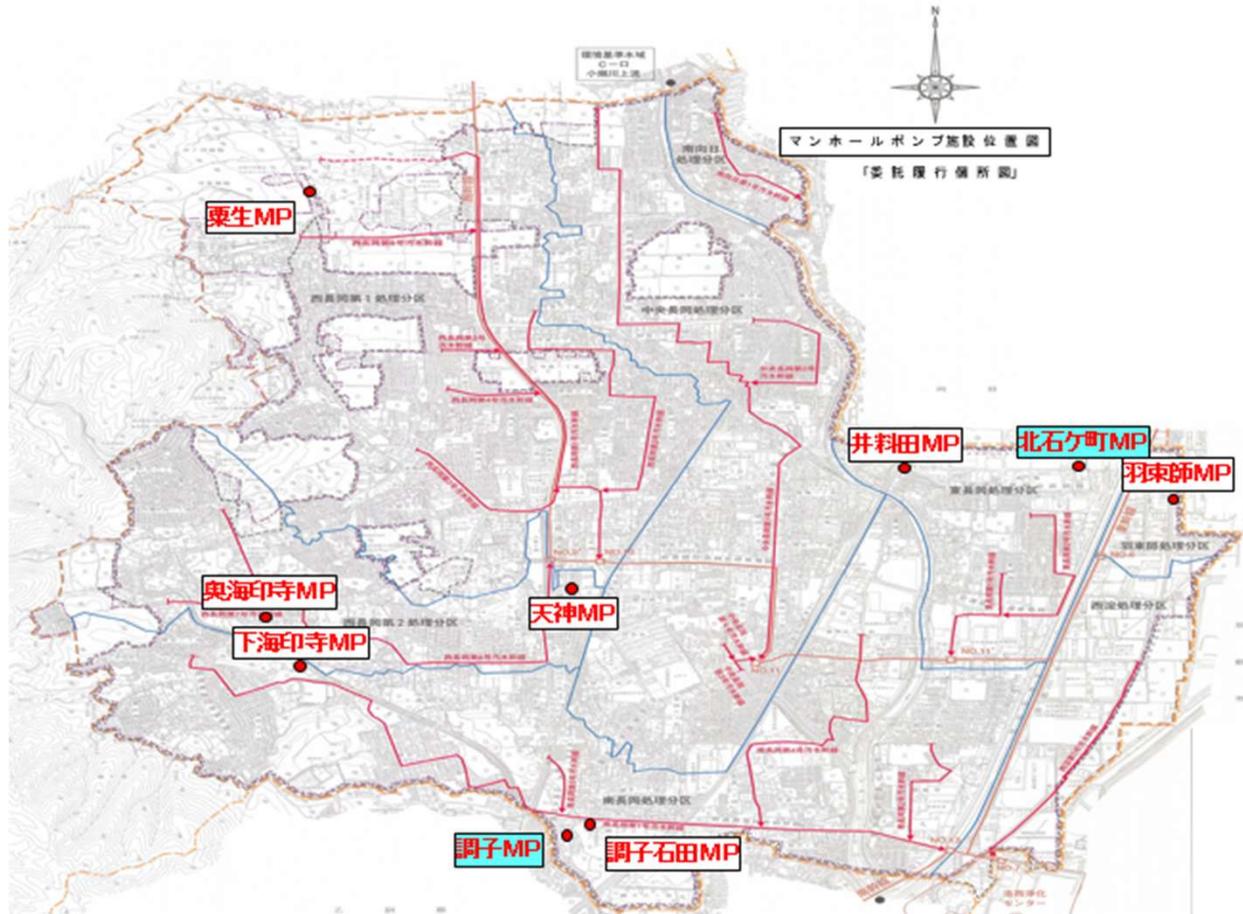
人孔施工中



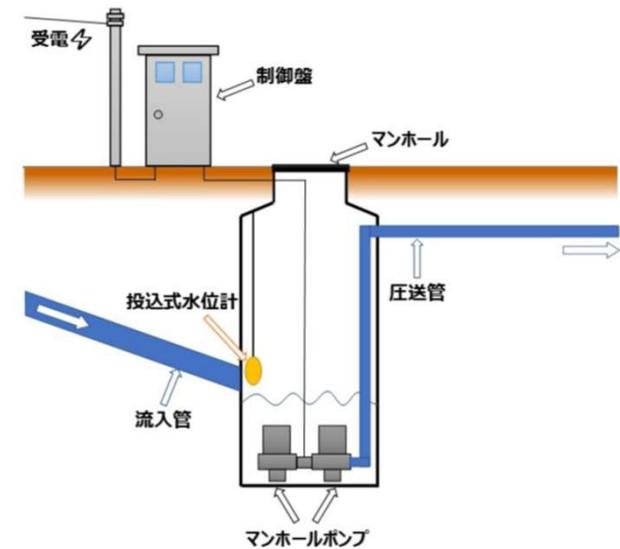
人孔完成

令和6年度の管路施設の点検は、R1策定のストックマネジメント計画に基づき、優先順位は布設年度の古い陶管から指標となる年間8.5kmの点検をしました。点検結果に基づく不良箇所の改築工事は、管渠更生L=113m、人孔更生8基、蓋改築11箇所等の長寿命化対策を実施しました。長寿命化対策は、老朽化・耐震化対策を図りながら、管路施設の持続可能な健全性を確保します。

# マンホールポンプ整備



## ☆マンホールポンプとは



マンホールポンプは、自然流下で流すことができない場所から生活排水をくみ上げ、下水処理場へ流すためのポンプ設備です。

ストックマネジメント計画による点検・調査を兼ねた令和6年度の定期点検は、9基の月点検（10回）、年点検（2回）と故障等による緊急時の対応を実施しました。  
また、老朽化対策として目標耐用年数が23年を超えたマンホールポンプ施設（電気設備・機械設備）のポンプ（馬場北石ヶ町・調子）を各1基交換しました。  
今後も引き続き、マンホールポンプ整備を継続して行っていきます。

# 組織体制の強化

## 平成27年度 下水道事業職員勤続年数別構成



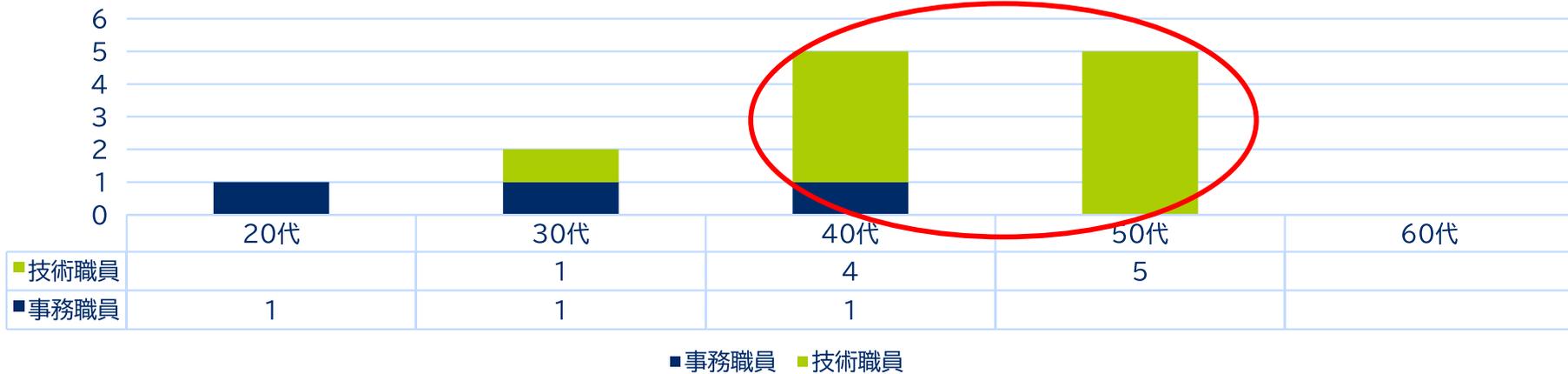
## 令和6年度 下水道事業職員勤続年数別構成



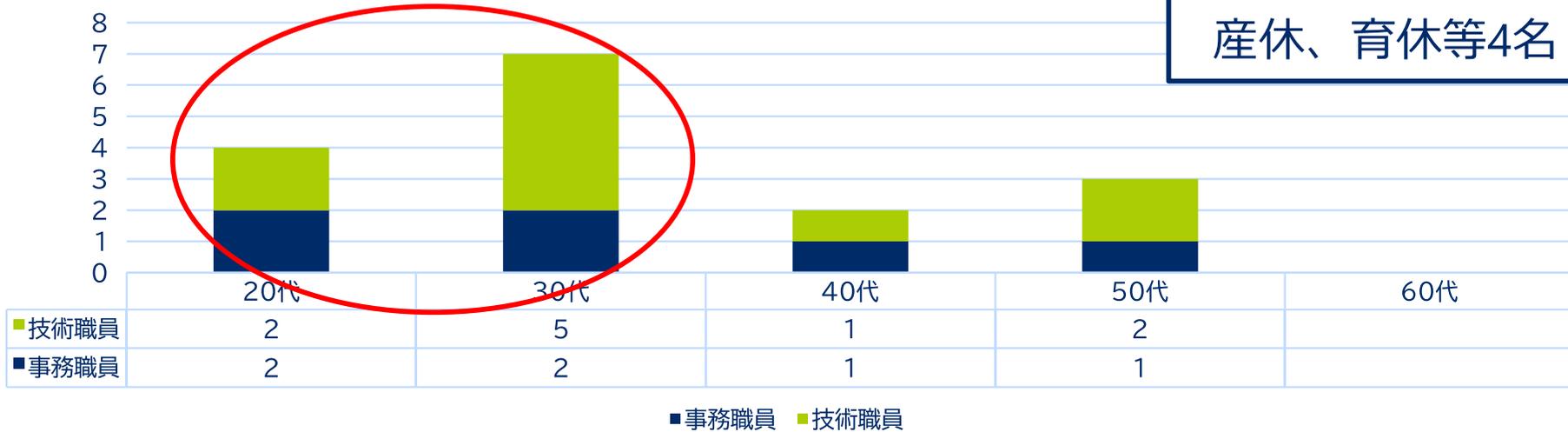
※ 会計年度任用職員、再任用職員を除く下水道事業会計職員。

# 組織体制の強化

平成27年度 下水道事業職員年齢別構成



令和6年度 下水道事業職員年齢別構成



※ 会計年度任用職員、再任用職員を除く下水道事業会計職員。

※ 平成29年度より公営企業会計へ移行。専門性が高いため、事務職員を増員

◎ 京都府へ維持管理経費の削減や更なる経費の効率化を要請します。

⇒ 物価や人件費高騰による改築更新や業務委託料等の費用が増大する中で、適正な維持管理更新事業を推進していくため様々な要請、協議を進めていきます。

◎ 国の広域化への取組みの推進に伴う京都府の検討・動向に注視し対応していきます。

⇒ ウォーターPPP(官民連携手法)導入による広域連携の検討を進めます。

## ■ 京都府流域下水道事業

**汚水** 供用開始から50年が経過する中で、耐震化を含む施設の改築更新を関係機関と連携しながら計画的に実施していく必要があります。

**雨水** 近年の想定を超える浸水害に対応するため、広域的浸水対策事業として平成7年度よりいろは呑龍トンネル事業に着手。現在、令和9年度全体事業の供用開始に向けて、南幹線(長岡京市域)の整備を進めています。

# 財源試算の重点基準目標

重点基準目標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
経費回収率 (100%以上)	81.96	89.67	99.09	99.17	99.06
基準外一般会計繰入金 (0.2億円以内)	2.75	1.43	0.11	0.11	0.17
資金残高 (2億円程度)	2.06	1.34	1.97	4.90	2.03

	令和6年度 実績値	令和6年度 中間目標値	令和6年度 検証	令和11年度 計画目標値
経費回収率	99.06	100%以上	ほぼ達成	100%以上
基準外一般会 計繰入金	0.17	0.2億円以内	達成	0.2億円以内
資金残高	2.03	2億円程度	達成	2億円程度

投資・財政計画（収支計画）との比較

一収益的収支一

項 目		（単位：億円、税抜き）						進捗と計画の比較
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計(2~6年度)	
取 入	1. 営業収益	15.52	16.26	16.25	16.25	16.24	80.52	△ 3.38
		13.60	14.82	16.26	16.19	16.27	77.14	
	(1) 下水道使用料収入	13.29	14.40	14.32	14.24	14.15	70.40	△ 4.04
		11.64	12.60	14.07	14.05	14.00	66.36	
	(2) その他	2.23	1.86	1.93	2.01	2.09	10.12	0.66
		1.96	2.22	2.19	2.14	2.27	10.78	
	2. 営業外収益	15.27	16.40	16.43	16.75	16.83	81.68	△ 3.24
		15.80	15.23	15.57	15.89	15.95	78.44	
	(1) 補助金	3.50	4.54	4.56	4.74	4.69	22.03	△ 2.21
		4.05	3.58	3.73	4.07	4.39	19.82	
	うち他会計補助金(基準内)	3.34	4.38	4.39	4.57	4.52	21.20	△ 1.87
		3.89	3.52	3.61	3.99	4.32	19.33	
	うち他会計補助金(基準外)	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.10	△ 0.10
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(2) 長期前受金戻入ほか	11.77	11.86	11.87	12.01	12.14	59.65	△ 1.03	
	11.75	11.65	11.84	11.82	11.56	58.62		
取 入 計	30.79	32.66	32.68	33.00	33.07	162.20	△ 6.62	
	29.40	30.05	31.83	32.08	32.22	155.58		
支 出	1. 営業費用	25.45	25.53	25.53	25.69	25.84	128.04	△ 0.53
		25.50	24.98	25.37	25.77	25.89	127.51	
	(1) 職員給与費	0.92	0.95	0.95	0.95	0.95	4.72	△ 0.72
		0.87	0.76	0.76	0.73	0.88	4.00	
	(2) 流域負担金	4.62	4.95	4.95	4.95	5.00	24.47	0.22
		4.90	4.53	4.77	5.21	5.28	24.69	
	(3) 減価償却費	18.33	18.27	18.27	18.43	18.53	91.83	△ 0.43
		18.32	18.29	18.23	18.26	18.30	91.40	
	(4) その他	1.58	1.36	1.36	1.36	1.36	7.02	0.40
		1.41	1.40	1.61	1.57	1.43	7.42	
	2. 営業外費用	3.04	2.80	2.53	2.28	2.04	12.69	△ 0.97
		3.00	2.61	2.28	2.01	1.82	11.72	
	(1) 支払利息ほか	3.04	2.80	2.53	2.28	2.04	12.69	△ 0.97
		3.00	2.61	2.28	2.01	1.82	11.72	
支 出 計	28.49	28.33	28.06	27.97	27.88	140.73	△ 1.50	
	28.50	27.59	27.65	27.78	27.71	139.23		
経常損益	2.30	4.33	4.62	5.03	5.19	21.47	△ 5.12	
	0.90	2.46	4.18	4.30	4.51	16.35		
特別損益	△ 0.01	△ 0.01	△ 0.01	△ 0.01	△ 0.01	△ 0.05	0.13	
	0.12	△ 0.01	△ 0.01	△ 0.01	△ 0.01	0.08		
当年度純利益（又は純損失）	2.29	4.32	4.61	5.02	5.18	21.42	△ 4.99	
	1.02	2.45	4.17	4.29	4.50	16.43		

一資本的収支一

上段：計画 下段：進捗（R2～R6：決算）

項 目		（単位：億円、税込み）						進捗と計画の比較
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計(2~6年度)	
取 入	1. 企業債	6.80	8.73	10.20	7.74	4.69	38.16	△ 9.93
		6.24	5.68	5.61	6.70	4.00	28.23	
	うち資本費平準化債	4.54	3.80	3.15	2.39	1.54	15.42	0.47
		4.53	3.95	3.30	2.48	1.63	15.89	
	(上記のうち汚水事業分)	4.31	3.58	2.96	2.19	1.34	14.38	0.20
		4.30	3.68	3.01	2.20	1.39	14.58	
	2. 他会計出資金	1.17	0.00	0.00	0.00	0.00	1.17	2.68
		2.49	1.36	0.00	0.00	0.00	3.85	
	3. 他会計補助金	1.07	0.88	0.74	0.68	0.71	4.08	0.43
		0.95	0.87	0.99	0.73	0.97	4.51	
4. 国府補助金	0.57	1.93	3.39	2.24	1.13	9.26	△ 3.83	
	0.29	0.71	0.61	2.41	1.41	5.43		
取 入 計	9.61	11.54	14.33	10.66	6.53	52.67	△ 10.65	
	9.97	8.62	7.21	9.84	6.38	42.02		
支 出	1. 建設改良費	3.42	7.32	10.84	7.98	4.72	34.28	△ 13.81
		2.48	2.93	3.57	7.06	4.43	20.47	
	うち汚水事業分	0.94	1.57	2.65	2.67	3.45	11.28	△ 6.90
		0.70	0.83	1.15	0.73	0.97	4.38	
	うち雨水事業分	2.48	5.75	8.19	5.31	1.27	23.00	△ 6.91
		1.78	2.10	2.42	6.33	3.46	16.09	
	2. 企業債償還金	15.22	15.08	14.73	14.35	13.70	73.08	△ 0.76
		15.23	14.91	14.64	14.03	13.51	72.32	
	3. その他	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.10	△ 0.08
		0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.02	
支 出 計	18.66	22.42	25.59	22.35	18.44	107.46	△ 14.65	
	17.71	17.84	18.21	21.10	17.95	92.81		
資本的収入額が資本的支出額に不足する額	9.05	10.88	11.26	11.69	11.91	-	-	
	7.74	9.22	11.00	11.26	11.57	-	-	
企 業 債 残 高	165.20	158.85	154.32	147.71	138.70	-	△ 9.76	
	164.04	154.81	145.78	138.45	128.94	-		
うち汚水事業分	139.90	130.87	122.48	113.82	105.43	-	△ 4.14	
	139.68	130.54	121.19	111.29	101.29	-		
うち雨水事業分	25.30	27.98	31.84	33.89	33.27	-	△ 5.62	
	24.36	24.27	24.59	27.16	27.65	-		

一財政試算の重点基準目標一

上段：計画 下段：進捗（R2～R6：決算）

経 費 回 収 率 (%)	92.22	100.60	100.47	100.36	100.25
(100%以上)	81.96	89.67	99.09	99.17	99.06
基準外一般会計繰入金 (億円)	1.58	0.32	0.25	0.25	0.29
(0.2億円以内)	2.75	1.43	0.11	0.11	0.17
資 金 残 高 (億円)	1.84	1.83	1.83	1.83	1.83
(2億円程度)	2.06	1.34	1.97	4.90	2.03